

(様式2(1))

事業所名 グループホームみどり

作成日: 令和 8年 2月 24日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	26	介護計画を職員間で共有し、ケース会議の中で利用者・家族・主治医・看護師の意見も踏まえた介護計画の見直しの検討ができていない	利用者・家族・主治医・看護師などの意見を伺った上でケース会議を開催し、介護計画について職員間で話し合い、全職員に共有する	各担当職員が利用者・家族の意見を収集し、毎月のケース会議を開催する	6ヶ月
2	8	成年後見制度をはじめ、権利擁護に関する制度について職員が学ぶ機会がない	全職員が成年後見制度をはじめとする権利擁護に関する制度について理解を深める	成年後見制度など権利擁護に関する制度の研修を行う	6ヶ月
3	23	把握した利用者個々の意向についての情報更新が出来ておらず、職員間での共有が出来ていない	把握した新しい情報を追記し、利用者把握や個別支援につなげる	アセスメントシートを作成し直し、新しい情報を追記するようにする	6ヶ月
4	6	年に4回の虐待防止・身体拘束適正化委員会を開催しているが、3ヶ月に1回の定期的な開催が行えていない	3ヶ月に1回の委員会の開催を行い、定期的に利用者対応や環境整備について改善をはかる	年間の研修計画や会議の計画に沿って、委員会の開催を行う	6ヶ月
5	33	重度化・終末期対応について、家族への説明・話し合い・対応についての経過が記録されていない	契約時だけでなく、定期的に重度化・終末期対応について、家族の意見を伺い、その記録を残していく	改めて全利用者家族へ重度化・終末期対応について伺い、今後は定期的な話し合いの記録を残していく	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。